



## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 東宝株式会社 上場取引所 東・福  
コード番号 9602 URL <https://www.toho.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 宏 泰  
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員コーポレート本部経理財務担当 (氏名) 加藤 陽 則 (TEL) 03(3591)1218  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	234,169	15.3	52,801	26.9	51,552	16.7	34,141	20.2
2024年2月期第3四半期	203,100	13.0	41,610	16.0	44,182	8.0	28,402	4.7

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 34,731百万円(△16.1%) 2024年2月期第3四半期 41,374百万円( 52.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	200.38	—
2024年2月期第3四半期	162.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	594,557	469,041	76.2
2024年2月期	615,826	484,755	74.5

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 453,000百万円 2024年2月期 458,890百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	20.00	—	65.00	85.00
2025年2月期	—	35.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	297,000	4.8	62,000	4.6	60,000	△4.8	40,000	△11.7	234.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) 株式会社サイエンスSARU 、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期3Q	186,490,633株	2024年2月期	186,490,633株
2025年2月期3Q	16,957,643株	2024年2月期	12,490,741株
2025年2月期3Q	170,386,779株	2024年2月期3Q	174,586,049株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気の緩やかな回復基調が見られる一方、海外景気の下振れによる景気の下押しリスクや物価上昇、金融資本市場の変動の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢下において当社グループでは、2022年4月に策定した「中期経営計画 2025」の最終年度にあたり、映画、アニメ、演劇、不動産の「事業の4本柱」それぞれにおいてさらなる成長を目指し、積極的な投資や着実な事業展開を進めております。当第3四半期連結累計期間における経営成績は、営業収入は2341億6千9百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は528億1百万円（同26.9%増）、経常利益は515億5千2百万円（同16.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は341億4千1百万円（同20.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

#### 映画事業

映画営業事業では、東宝㈱において、共同製作や配給した作品のうち、「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」が大ヒット、「キングダム 大將軍の帰還」「ラストマイル」「変な家」「映画ドラえもん のび太の地球交響楽」「僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト」「映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記」「室井慎次 敗れざる者」「室井慎次 生き続ける者」「スオミの話をしよう」がヒットいたしました。また、東宝東和㈱において配給した「怪盗グルーのミニオン超変身」もヒットいたしました。前連結会計年度中に公開された「劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」も高稼働となりました。その他、「ゴジラ-1.0」の国内外における配信権収入やテレビ放映権収入が業績に寄与いたしました。これらの結果、映画営業事業の営業収入は44,723百万円（前年同期比34.7%増）、営業利益は18,737百万円（同60.6%増）となりました。なお、上記営業収入の主な内訳として、映画館への配給が27,124百万円（前年同期比6.3%増）、劇場用映画の国内配信が2,777百万円（同190.4%増）となりました。

映画興行事業では、TOHOシネマズ㈱等において、上記配給作品の他、「インサイド・ヘッド2」等の話題作を上映いたしました。当第3四半期連結累計期間における映画館入場者数は28,606千人と前年同期比7.3%の減少となりました。これらの結果、映画興行事業の営業収入は56,057百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は7,569百万円（同16.7%減）となりました。なお、当第3四半期連結累計期間中の劇場の異動はありません。当企業集団の経営するスクリーン数は全国で722スクリーン（共同経営56スクリーンを含む）となっております。

映像事業では、東宝㈱において、「僕のヒーローアカデミア」「呪術廻戦」「ハイキュー!!」「葬送のフリーレン」「SPY×FAMILY」「怪獣8号」「薬屋のひとりごと」等、製作・出資いたしましたTOHO animation作品の国内外の配信・商品化権収入に加え、各種配分金収入が業績に大きく貢献いたしました。パッケージ事業では「ゴジラ-1.0」が好調なセールスとなった他、TOHO animation作品の「劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」「葬送のフリーレン」「ウマ娘 プリティーダービー」等の販売が伸びました。出版・商品事業では、劇場用パンフレット、キャラクターグッズにおいて「劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」「僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト」をはじめとする当社配給作品の販売が好調に推移いたしました。また、「ハイキュー!!」をはじめとするTOHO animation作品や生誕70周年を迎えた「ゴジラ」を中心とする東宝怪獣キャラクターのキャラクターグッズ販売が大きく伸び営業収入に寄与いたしました。㈱東宝ステラでは、ECサイトでの販売が好調に推移いたしました。TOHOスタジオ㈱では、制作及びスタジオ事業の一体運営を図り、堅調に稼働いたしました。㈱東宝映像美術及び東宝舞台㈱では、原価管理に努めながら、映画やTV・ライブイベント等での舞台製作・美術製作やテーマパークにおける展示物の製作業務、メンテナンス業務等を受注いたしました。これらの結果、映像事業の営業収入は57,459百万円（前年同期比30.3%増）、営業利益は15,051百万円（同68.6%増）となりました。なお、上記営業収入の主な内訳として、アニメコンテンツの利用が24,482百万円（前年同期比28.9%増）、パッケージの販売が5,422百万円（同11.2%増）、映像作品等に係る美術製作が6,948百万円（同5.4%増）となりました。

以上の結果、映画事業全体では、営業収入は158,240百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は41,357百万円（同39.3%増）となりました。

## 演劇事業

演劇事業では、東宝(株)の帝国劇場におきまして、「舞台『千と千尋の神隠し』」「Endless SHOCK (Endless SHOCK/ Endless SHOCK Eternal)」「ムーラン・ルージュ!ザ・ミュージカル」「モーツァルト!」「DREAM BOYS」「Endless SHOCK」を上演し全席完売となりました。シアタークリエにおきましては「ファンレター」が満席となった他、「骨と軽蔑」「町田くんの世界」「CROSS ROAD～悪魔のヴァイオリニスト パガニーニ～」 「ナビレラーそれでも蝶は舞うー」「ライムライト」「VOICARION XVIII～Mr.Prisoner～」 「tick, tick...BOOM!」等を上演いたしました。また、「舞台『千と千尋の神隠し』」「モーツァルト!」「ムーラン・ルージュ!ザ・ミュージカル」等の社外公演を展開し、「舞台『千と千尋の神隠し』」はロンドン・コロシウムでのロングラン公演も大盛況となりました。その他、初演から24年を経て大千穂楽を迎えた「Endless SHOCK」のライブビューイングを全国の映画館で実施し、好評を博しました。東宝芸能(株)では、所属俳優がCM出演等で堅調に推移いたしました。

以上の結果、演劇事業の営業収入は16,247百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は2,534百万円(同12.3%増)となりました。

## 不動産事業

不動産賃貸事業では、前連結会計年度末に(株)東京楽天地を連結子会社としており、当第3四半期連結累計期間より経営成績に含んでおります。賃貸用不動産の空室率は、当第3四半期連結会計期間末において0.9%となりました。再開発物件や新規に取得した物件の寄与がりましたが、大規模修繕費など一時的な費用の増加もあったことから、不動産賃貸事業の営業収入は28,345百万円(前年同期比29.3%増)、営業利益は8,758百万円(同0.9%減)となりました。なお、2024年9月に「住之江建物」(複合商業施設「アクロスプラザ住之江」)が竣工いたしました。

道路事業では、公共投資が底堅く推移しましたが、慢性的な建設技能者の不足や建設業界にも適用された「働き方改革関連法」への対応が喫緊の課題となる等、依然として予断を許さない状況が続きました。このような状況の中、スバル興業(株)と同社の連結子会社は、一般競争入札における総合評価落札方式への対応強化を図り各種工事の受注に努めましたが、採算性の高い工事の減少がありました。その結果、道路事業の営業収入は21,834百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は3,538百万円(同10.3%減)となりました。なお、営業収入の主な内訳は、道路の維持管理・清掃等20,143百万円(前年同期比2.4%増)であり、またその他の収益687百万円(同8.7%増)が含まれております。

不動産保守・管理事業では、東宝ビル管理(株)及び東宝ファシリティーズ(株)において、原材料価格の高騰や人手不足が継続する中、新規受注や品質向上に取り組むとともに請負金額の改定や業務の効率化等に努めました。その結果、営業収入は8,480百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は985百万円(同18.1%増)となりました。

以上の結果、不動産事業全体では、営業収入は58,660百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は13,281百万円(同2.5%減)となりました。

## その他事業

東宝共栄企業(株)の「東宝調布スポーツパーク」やTOHOリテール(株)の劇場売店等において、積極的な営業活動に努めました。その結果、その他事業の営業収入は1,020百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は176百万円(同8.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は21,269百万円減少し、594,557百万円となりました。これは現金及び預金で7,140百万円、棚卸資産で4,349百万円、土地で15,473百万円の増加がありましたが、有価証券で4,135百万円、現先短期貸付金で29,000百万円、投資有価証券で11,561百万円の減少があったこと等によるものです。

負債では前連結会計年度末から5,555百万円減少し、125,515百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末と比較して15,714百万円減少し、469,041百万円となりました。これは利益剰余金で16,929百万円の増加、自己株式が22,318百万円の増加、非支配株主持分で9,824百万円の減少があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期連結業績予想につきましては、2024年10月15日付「2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信」において公表いたしました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,733	45,874
受取手形、売掛金及び契約資産	42,075	42,608
有価証券	41,200	37,065
棚卸資産	13,130	17,479
現先短期貸付金	34,999	5,999
その他	38,396	29,019
貸倒引当金	△32	△36
流動資産合計	208,503	178,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	104,116	106,033
土地	104,539	120,013
建設仮勘定	5,738	3,676
その他（純額）	10,456	10,473
有形固定資産合計	224,851	240,197
無形固定資産		
のれん	1,927	5,684
その他	5,089	6,687
無形固定資産合計	7,017	12,372
投資その他の資産		
投資有価証券	154,175	142,613
その他	21,373	21,474
貸倒引当金	△93	△109
投資その他の資産合計	175,454	163,978
固定資産合計	407,323	416,547
資産合計	615,826	594,557

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	32,765	24,846
短期借入金	41	24
1年内返済予定の長期借入金	1,124	432
未払法人税等	12,002	7,262
賞与引当金	1,226	716
その他の引当金	86	86
資産除去債務	25	169
その他	21,868	32,895
流動負債合計	69,141	66,434
固定負債		
長期借入金	2,189	1,652
退職給付に係る負債	4,004	4,025
役員退職慰労引当金	162	159
その他の引当金	86	—
資産除去債務	8,079	8,312
その他	47,406	44,932
固定負債合計	61,929	59,081
負債合計	131,071	125,515
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,355	10,355
資本剰余金	14,216	14,243
利益剰余金	439,921	456,851
自己株式	△42,827	△65,145
株主資本合計	421,667	416,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,216	33,298
繰延ヘッジ損益	—	59
為替換算調整勘定	2,642	2,944
退職給付に係る調整累計額	363	393
その他の包括利益累計額合計	37,223	36,695
非支配株主持分	25,865	16,041
純資産合計	484,755	469,041
負債純資産合計	615,826	594,557



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
営業収入	203,100	234,169
営業原価	111,823	124,925
売上総利益	91,276	109,243
販売費及び一般管理費		
人件費	17,013	19,440
広告宣伝費	5,571	7,745
賞与引当金繰入額	143	250
退職給付費用	784	738
役員退職慰労引当金繰入額	21	31
借地借家料	6,781	6,587
その他	19,348	21,648
販売費及び一般管理費合計	49,665	56,442
営業利益	41,610	52,801
営業外収益		
受取利息	581	236
受取配当金	1,155	1,492
持分法による投資利益	218	—
為替差益	417	293
その他	276	421
営業外収益合計	2,649	2,443
営業外費用		
支払利息	6	56
持分法による投資損失	—	3,605
子会社清算損	51	—
その他	19	30
営業外費用合計	77	3,692
経常利益	44,182	51,552
特別利益		
固定資産売却益	207	76
受取保険金	—	20
受取承諾料	—	300
特別利益合計	207	396
特別損失		
固定資産圧縮損	—	9
出資金評価損	107	—
立退補償金	—	150
特別損失合計	107	159
税金等調整前四半期純利益	44,283	51,789
法人税、住民税及び事業税	13,043	17,132
法人税等調整額	1,643	△601
法人税等合計	14,686	16,530
四半期純利益	29,596	35,259
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,194	1,118
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,402	34,141

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	29,596	35,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,736	△918
為替換算調整勘定	1,957	△93
退職給付に係る調整額	76	29
持分法適用会社に対する持分相当額	7	454
その他の包括利益合計	11,778	△527
四半期包括利益	41,374	34,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,180	33,613
非支配株主に係る四半期包括利益	1,194	1,118

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	44,283	51,789
減価償却費	7,521	9,306
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△73	20
受取利息及び受取配当金	△1,736	△1,729
支払利息	6	56
持分法による投資損益 (△は益)	△218	3,605
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△215	△391
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,391	△1,751
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,504	△7,968
未払消費税等の増減額 (△は減少)	202	△730
その他	3,033	5,695
小計	45,906	57,904
利息及び配当金の受取額	1,916	1,777
利息の支払額	△10	△57
法人税等の支払額	△18,517	△21,462
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,294	38,161
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△37,595	△14,990
有価証券の売却による収入	41,200	49,810
有形固定資産の取得による支出	△16,151	△24,550
有形固定資産の売却による収入	214	320
投資有価証券の取得による支出	△13,601	△4,075
子会社株式の取得による支出	—	△12,423
貸付けによる支出	△1	△722
貸付金の回収による収入	6	504
金銭の信託の取得による支出	△2,300	△700
金銭の信託の解約による収入	2,300	3,300
その他	△3,254	△6,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,182	△10,324
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	20,000
短期借入金の返済による支出	—	△20,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	55	△16
長期借入金の返済による支出	△72	△1,391
自己株式の取得による支出	△6	△20,059
配当金の支払額	△10,412	△17,062
非支配株主への配当金の支払額	△429	△526
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△6	△0
リース債務の返済による支出	△141	△12
その他	9	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,004	△39,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,132	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,759	△11,225
現金及び現金同等物の期首残高	112,121	82,424
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	103,369	71,198

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月15日開催の取締役会決議に基づき自己株式4,000,000株の取得を行っております。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が22,318百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が65,145百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	映画 事業	演劇 事業	不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	136,262	14,508	51,393	202,164	935	203,100	—	203,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,835	24	3,829	5,688	232	5,921	△5,921	—
計	138,097	14,532	55,223	207,853	1,168	209,021	△5,921	203,100
セグメント利益又は損失(△)	29,680	2,256	13,619	45,556	191	45,748	△4,137	41,610

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設の経営事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,137百万円は、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,136百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	映画 事業	演劇 事業	不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	158,240	16,247	58,660	233,148	1,020	234,169	—	234,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,864	242	3,847	5,954	207	6,162	△6,162	—
計	160,105	16,490	62,507	239,103	1,228	240,331	△6,162	234,169
セグメント利益又は損失(△)	41,357	2,534	13,281	57,173	176	57,350	△4,548	52,801

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設の経営事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,548百万円は、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,548百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	映画事業	演劇事業	不動産事業		
主要なサービス					
映画館への配給	25,513	—	—	—	25,513
劇場用映画の国内配信	956	—	—	—	956
映画館の経営	58,956	—	—	—	58,956
アニメコンテンツの利用 (※1)	18,987	—	—	—	18,987
パッケージの販売	4,875	—	—	—	4,875
映像作品等に係る美術製作	6,593	—	—	—	6,593
演劇の製作・興行	—	14,508	—	—	14,508
道路の維持管理・清掃等	—	—	19,663	—	19,663
不動産の保守・管理	—	—	7,837	—	7,837
その他	20,378	—	1,342	935	22,657
顧客との契約から生じる収益	136,262	14,508	28,844	935	180,550
その他の収益 (※2)	—	—	22,549	—	22,549
外部顧客への売上	136,262	14,508	51,393	935	203,100

(※1) アニメコンテンツの利用は、主に配信を中心とした番組販売や商品化権収入等であります。

(※2) その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	映画事業	演劇事業	不動産事業		
主要なサービス					
映画館への配給	27,124	—	—	—	27,124
劇場用映画の国内配信	2,777	—	—	—	2,777
映画館の経営	56,057	—	—	—	56,057
アニメコンテンツの利用 (※1)	24,482	—	—	—	24,482
パッケージの販売	5,422	—	—	—	5,422
映像作品等に係る美術製作	6,948	—	—	—	6,948
演劇の製作・興行	—	16,247	—	—	16,247
道路の維持管理・清掃等	—	—	20,143	—	20,143
不動産の保守・管理	—	—	8,480	—	8,480
その他	35,426	—	1,003	1,020	37,450
顧客との契約から生じる収益	158,240	16,247	29,627	1,020	205,135
その他の収益 (※2)	—	—	29,033	—	29,033
外部顧客への売上	158,240	16,247	58,660	1,020	234,169

(※1) アニメコンテンツの利用は、主に配信を中心とした番組販売や商品化権収入等であります。

(※2) その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等が含まれております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社の子会社(孫会社)であるToho International, Inc. (以下「Toho International」)は、北米を中心にアニメーションの製作と配給を手掛けるGKIDS, INC. (以下「GKIDS」)の持分の100%を取得するための株式譲渡契約を2024年10月16日に締結し、10月17日付で株式を取得しました。Toho Internationalの決算日は12月31日であり、当第3四半期連結累計期間においては2024年9月30日現在の財務諸表を使用しております。

1. 企業結合の目的

当社グループは「TOHO VISION 2032 東宝グループ 経営戦略」において、成長戦略のキーワードとして「企画&IP」「海外」「アニメーション」を掲げ、魅力あるコンテンツの企画開発、IP創出の強化とともに、市場開拓の余地が大きい海外でのビジネス拡大を目指しております。

当社グループは、北米におけるアニメーションの製作と配給を手掛けるGKIDSを連結子会社とすることによって、日本及び世界中のアニメーションをより直接かつ広くファンに届けるための強い基盤を築き上げることが出来るものと考えております。さらに、日本発コンテンツの海外展開、クリエイターやスタジオの海外進出を図ってまいります。

2. 被取得企業の概要

名 称	GKIDS, INC.
事業内容	北米を中心とした海外におけるアニメ作品の配給及び配信プラットフォームへの販売、企画、製作
資 本 金	2 千 米 ド ル

3. 企業結合の概要

(1) 企業結合日

2024年10月17日

(2) 取得した議決権比率

100%

4. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	140百万米ドル(概算)
取得原価		140百万米ドル(概算)

(注) 取得の対価には条件付取得対価(公正価値)が含まれており、当取得による企業結合は米国会計基準に基づき会計処理いたします。なお、取得原価の一部が未確定であるため、暫定的な金額であります。

5. 資金の調達方法

自己資金を充当